



第 44 号

令和 3 年 9 月 15 日

発行 幌北地区社会福祉協議会
編集 福祉のまち推進センター
後援 幌北連合町内会
幌北会館内 726-6345

～健康と予防 お互いさまの気持ちを大切に～

コロナ禍に負けない活動を！

～気かけあい 信頼で関わり合う～



私たちの地区は、2018 年 9 月に胆振東部地震でブラックアウト、電気も電話も遮断される恐怖を体験しました。

平穏な活動に戻りかけた矢先の 2020 年初頭からは、新型コロナウイルスの感染の拡大と縮小を繰り返し、現在は「緊急事態宣言」の発令中です。(9月1日現在)

コロナ禍に歯止めが掛からず、自粛々々で精神的「ストレス」が溜まります。加えてもし感染したら、もし収入が減つたら「不安や心配」を抱える人も多いようです。

不安や心配を抱え長引く自粛は、孤立感を生む要因です。

自己のメンタルヘルス(心の健康)、地域のつながりが大切だと思います。

コロナ禍の続く地域の危機を乗り越えるには、地域近隣の「つながり」を絶やさずに続ける「取り組み」の工夫が必要でしょう。

福まちの目標は、「お互いさま」の気持ちを大切に、安心の「まちづくり」です。

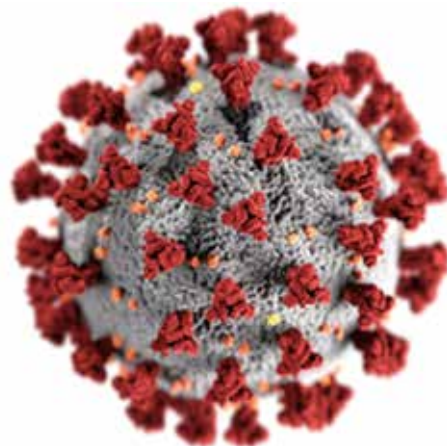
「災い」のブラックアウトは予知できない不測の事態でしたが、対応への反省や工夫の成果がありました。

この度のコロナ「禍」は予防が可能と思うのですが、何故か感染が急速拡大しているのが現状です。

外出自粛による「孤立の危機」だからこそ、私たちは独居の方など高齢者の「安否確認」や、地域近隣の人と人の「つながり」を保つために、「できる活動の工夫や努力」をすることが大切になりました。

このような時の見守り・安否確認の活動は、主として外からの「そっと見守り」や「インターホン、電話等での会話、メッセージ等の届け時のポストイン会話」になると思います。

「挨拶運動」や「お互いさま」は、お互いに気持ちの良いものです。近隣顔見知りの常識になりました。日常の散歩、ゴミ出し、買い物などの接点で、「顔を合わせる機会」「姿を見かける機会」を大切に、お互いを確かめ合い、「心豊かに健やかに」過ごしたいものです。



100%でなくていい みんなで仲よく楽しい活動を

～幌北第9町内会の1年～

令和3年度4月より、幌北第9町内会会長に就任いたしました、永野秀行と申します。

頼れるベテラン役員さん方からのご指導を頂きながら、微力ではございますが、町内会の皆さまのお役に立てたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

第9町内会は北海道大学が隣接しているため、ワンルームマンション居住者、そして古くからの戸建てが多い地域となっております。ここ数年新しい戸建てのファミリー世帯が少しずつ増え、町内会活動に家族で参加して下さる姿が見える様になってきました。

学生や単身者の居住者が多く、まだまだ町内会活動を支える方が少ないという課題もありますが、『元気な挨拶が飛び交い、みんなと仲よく楽しい町内会活動』を目指したいと思っております。

例年は4月の総会に始まり、新入学児童へのお祝い配付、6月花壇整備&ジャガイモ植え、7・8月は第10町内会と合同での夏休みラジオ体操、9月は収穫祭&焼き肉パーティー、敬老の日のお祝い配付、年明けの1月は新年の集い、となります。また、月に1度の役員会を開催しています。

コロナ禍で活動の制限も余儀なくされていますが、感染症対策をしっかりと行いながらできる行事を少しずつ増やしていける様工夫していきたいと思っております。

最後になりましたが、私の父である前会長永野拓也は24年間という長きにわたり、幌北第9町内会会長を務め、また幌北連合町内会会長も務めさせていただきました。その間、役員の皆様にはたくさんのご協力を頂きましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。



花の苗植え作業



花壇整備



第9町内会農園

こんにちは 包括支援センターです軽にご相談ください

～札幌市北区第1地域包括支援センター～

幌北地区のみなさま、こんにちは。『地域包括支援センター』についてご紹介させていただきます。札幌市には、現在27箇所の地域包括支援センターが設置されており、学区のように、お住まいの地区によって担当が分かれております。幌北地区は、北区第1地域包括支援センターが担当しております（幌北・鉄西・北・新琴似）。

例年、幌北地区では地域のみなさまにお声がけいただき、サロン等の集いの場や、福祉のまち研修会など、さまざまな場面で高齢者のみなさまの心身の健康維持や、制度利用について、一緒に取り組みをさせていただいておりました。令和2年のコロナウイルス感染拡大により、人と人が集うことが難しい時期が続き、少しでもみなさまの健康維持につながる情報をお届けできないかと令和3年3月に生まれた『北1包括通信』、回覧板でご覧になっていただいた方がいらっしゃれば、大変嬉しく思います。

包括支援センターの主な業務は①介護保険で要支援1・2の認定を受けている方のケアマネジメント（介護予防ケアマネジメント）、②介護についてのご相談など、高齢者に関連するあらゆる相談（総合相談・支援やその他の必要なサービスとの連携）③高齢者の虐待防止のための相談や権利擁護（成年後見制度の活用・消費者被害の早期発見や防止）、④ネットワークを構築し、地域のケアマネージャーをサポート（包括的・継続的ケアマネジメント支援）。以上の4本柱の事業があり、高齢者の生活をサポートする3職種（主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士）が勤務しております。

家族介護者の支援や、認知症の理解の普及啓発、地域にある様々な社会資源（ボランティアや公的以外の各種サービス）の紹介、介護予防に関する紹介（介護予防センター新道南併設）等も行っています。

幌北地区を担当する当センターは、北区役所横、サンプラザ5階にございます。まずはお気軽にお電話・お立ち寄りください。

札幌市北区第1包括支援センター 電話番号 700-2939

札幌市地域包括支援センターの
イメージキャラクター「ほっター」です♪
どうぞよろしく！



札幌市地域包括支援センター

高齢者の方々が、住み慣れた地域で、 くらし続けるために応援してください。

札幌市と札幌市社会福祉協議会では、毎年12月から「福祉除雪事業」を行っています。

この福祉除雪事業は、70歳以上の高齢の方や障がいのある方など、積雪により冬季間の生活に不自由されている世帯に対して、地域の協力員さんが助け合い活動の一環として除雪作業を行う仕組みです。

除雪作業に加えて利用世帯の安否確認も兼ねており、地域住民がお互いに助け合う優しい街づくりの一つとして、雪国ならではの温かな取り組みです。今年も12月からの「福祉除雪事業」の実施に向けて、新たに除雪活動に協力していただける「地域協力員」を募集します。

活動内容

- ①除雪範囲 間口（道路への出入り口部分）を概ね 1.5m、敷地内（玄関先までの通路部分）を歩行に支障のない80cm程度の除雪をしていただきます。
- ②除雪日時 札幌市の道路除雪が行われた日の12時ころまでに実施していただきます。
- ③除雪期間 令和3年年12月1日(水)～令和4年3月25日(水)

募集内容

年齢・性別を問いません。一つの世帯をご家族、お仲間など複数の方で除雪いただくことも可能です。

申込方法

ご協力いただける方は、北区社会福祉協議会に登録していただきます。

※ 登録・お申し込みなどの詳細は
北区社会福祉協議会へ

電話 **757-2482**



福祉除雪ボランティアしませんか！

幌北地区福祉のまち推進センター